

町・村制度から大日本帝国の本質が見える  
日本法制史学の第一人者による近代統治法史研究の集大成

# 帝国日本の 統治法

—内地と植民地朝鮮・台湾の  
地方制度を焦点とする—

大阪大学名誉教授・法学博士  
著 山中永之佑

A5判・990ページ 1アクセス:49,500円(本体) 3アクセス:82,500円(本体)  
出版社:大阪大学出版会



書影	書名	Product ID	出版社名	底本刊行年月	フォーマット	1アクセス	3アクセス
	著者名	ISBN	内容紹介				
	<b>帝国日本の統治法</b> 内地と植民地朝鮮・台湾の 地方制度を焦点とする	KP00050148	大阪大学出版会	2021年3月	PDF	¥49,500(本体)	¥82,500(本体)
		9784872596762	日本の植民地支配の歴史的事実を法制度から捉えた書。内地と植民地朝鮮・台湾の地方制度に着目し、日本及び両国における近年の研究成果も参照しつつ、市町村(相当の)レベルの行政単位に至るまで「帝国日本」の地方統治構造とその変遷を解明した初めての論考。				
	山中永之佑						



紀伊國屋書店 学術電子図書館

**KinoDen**  
Kinokuniya Digital Library

KinoDen は、紀伊國屋書店がご提供する学術和書電子図書館サービスです。

読みやすいビューア、未購入タイトルも含めた全文検索、試し読み・リクエスト機能など、長年の経験を活かし「本当に使われる電子図書館」をご提供致します。

日本の近代法史研究には、内地法と外地＝植民地法を「帝国日本」の法として一体化して捉える視点が不可欠となる。

本書は、統治法の中軸というべき地方制度に焦点を当て、内地・朝鮮・台湾の比較分析を通じて帝国日本の統治構造の実相を明らかにした初めての書である。

植民地の朝鮮と台湾は、総督を中心とする施政における強大な力と本国からの一定の「自律性（制限はあるが）」を有する権力によって統治され、本国とは異なる「法の支配」に属する領土である。このような領土である朝鮮・台湾を代表的植民地として領有する戦前日本国家は、植民地帝国日本或いは帝国日本と呼ばれる。本書は、この帝国日本の統治法をその中軸である内地・朝鮮・台湾の地方制度を焦点とし、それをバックアップし、担保する軍事・治安・教育法体制等、法・政策とそれらに対する人々の反応や抵抗にも論及しながら三者を比較し、帝国日本の統治法の基本構造を明らかにしようとした研究である。

—本書「概要」より

目次

はしがき

概要

第一部 帝国日本の成立と一九二〇年代を中心とする内地・朝鮮・台湾の統治法—地方制度を焦点とする—

序章 本書の意図

第一章 普選・治安維持法体制の形成・成立と地方制度の改正及び行政救済法

第一節 考察の対象とする内地の地方制度の範囲—一九二九年地方制度を考察の対象としない理由—

第二節 一九一一年の市制・町村制改正と地方改良運動

第三節 普選・治安維持法体制の形成・成立

第四節 普選・治安維持法体制形成・成立期の地方制度改正及び行政救済法

第二章 朝鮮における軍事、治安・教育法体制と一九二〇（大正九）年の

地方制度改正及び行政救済制度の不施行

第一節 内地（法）延長主義と律令・制令—植民地朝鮮・台湾における統治法考察への序—

第二節 「文化政治」と軍事、治安・教育法体制の再編、強化

第三節 一九二〇年の地方制度改正と行政救済制度の不施行

第三章 台湾における軍事、治安・教育法体制と一九二〇（大正九）年の

地方制度改正及び一九二二（大正一一）年の訴願法施行

第一節 軍事、治安・教育法体制

第二節 一九二〇年の地方制度改正と一九二三年の訴願法施行

第四章 むすびにかえて

第二部 準戦時・戦時法体制（ファシズム法体制）形成・成立・崩壊期の内地・朝鮮・台湾の統治法—地方制度を焦点とする—

第一章 一九二九（昭和四）年の地方制度改正から一九四三（昭和一八）年の地方制度改正へ

第一節 内地における法・政策の展開

第二節 一九二九年の地方制度改正から一九四三年の地方制度改正へ

第二章 朝鮮における一九三〇（昭和五）年の地方制度改正

第一節 朝鮮における法・政策の展開

第二節 一九三〇年地方制度改正に至る前後の諸情況

第三節 一九三〇年地方制度改正の立法化に関連する諸動向

第四節 一九三〇年地方制度改正と選挙及びその後の主な地方制度関係立法

第三章 台湾における一九三五（昭和一〇）年の地方制度改正

第一節 台湾における法・政策の展開

第二節 一九三五年地方制度改正の成立過程—民間側の動きを中心に—

第三節 一九三五年地方制度改正の成立過程

—総督府側の動きとそれに対応する民間側の動きを中心に—

第四節 一九三五年地方制度改正と選挙

終章 帝国日本の統治法の基本構造—内地・植民地朝鮮・台湾の地方制度を焦点とする—

第一節 準戦時・戦時法体制（ファシズム法体制）の形成・成立・

崩壊期における内地・朝鮮・台湾の地方制度の比較

第二節 むすびにかえて

索引